

## (特非) ふじ環境研究所

## 静岡県最後のタガメ個体群の保全活動

活動地域



## 課題

静岡県におけるタガメは県西部の限られた地域に生息しているのみで、絶滅の危機に瀕している。耕作放棄による水田や湿地の減少がハビタットの消失に大きく関わっている。

## 目標

既知のタガメの生息地(ため池、湿地)は環境の劣化が危惧されている。環境教育や自然体験活動として、耕作放棄地の湿地化(ビオトープ化)やため池の復元などを進めたい。



## 今後の展望

新型コロナウイルス禍のため、広く一般市民に向けた講座を開催することができなかった。再度、講座等を企画し、市民の関心度を高めたい。タガメ以外の貴重な生物も生息していることから、多様な生息環境を再生していきたい。

はじめる助成

1年目

実践

新たな生息環境を  
復元・創出する

1.9 ha

講座及び  
ワークショップの開催

2回

今年度計画の達成度

90%

目標達成度

80%

## 活動内容と成果

- 静岡県西部でタガメの卵塊約100個を調査し、メタ個体群化した分布実態を把握し、貴重なデータを得ることができた
- 最大の個体数を有する老朽化したため池の生息環境を整備した
- 休耕田を改善したビオトープでも、造成後4年連続で産卵を記録した
- かつてタガメの生息していた大規模な谷津田を確認し、保全・復元作業に着手することができた
- 一般市民対象の講座は開催できなかったが、若い世代(地元の中学生や大学生)に向けて、講座やワークショップを開催できた。アンケートではタガメの保全に高い関心を示した



## 苦労した点と工夫した点

## 苦労した点

- 耕作放棄地が予想以上に荒れていって、泥上げや畔の改修などの作業に苦労した
- 新型コロナウイルス禍で講座開催の判断が難しかった

## 工夫した点

- 現地に頻繁に通うことで、管理者や地権者と良好な関係を築くことができた

〒426-0084

静岡県藤枝市寺島529-1

E-mail : info@fuji-kankyo-lab.or.jp